

小児看護における感情労働と被暴力体験

キーワード：小児看護、感情労働、被暴力体験

○和田由紀子¹⁾、本間昭子¹⁾
新潟青陵大学¹⁾

I 目的

感情労働は、「『感情のやりとり』がその労働内容の重要な構成要素であり、かつ適切/不適切な感情経験や感情表出が規定されていて、それに合わせて自らの感情を適切に管理することが求められている労働」¹⁾である。被暴力体験と共に、「看護職者の心理的健康の阻害要因」となることが指摘²⁾されているが、小児看護領域に焦点を当てた研究は未だ少ない。そのため本稿では、小児看護に従事する看護職者の感情労働と被暴力体験を検討することを目的とする。

II 方法

国内の21病院に勤務する看護職者996名を対象に2012年2月～10月に実施した質問紙調査について、外来を除く小児科系・外科系・内科系に勤務する群を各々抽出し、感情労働尺度・日本版GHQ精神健康調査票28項目版(以下GHQ28)・日本語版バーンアウト尺度(以下バーンアウト尺度)の測定、および、過去1ヶ月以内・過去1ヶ月以上1年以内の期間に受けた患者・その家族からの被暴力体験(直接的暴力・間接的暴力・ことば・セクシャルハラスメントの4種類)の頻度の再分析を行った。質問紙の回収率75.2%、有効回答率72.2%であり、抽出した群は小児科系群40名・外科系群90名・内科系群177名であった。

分析は、3群に対する尺度の測定結果について、一元配置分散分析($p < .05$)と多重比較(Tukey HSD)を実施し、被暴力体験についてはKruskal-Wallisの順位和検定($p < .05$)を実施した。

倫理的配慮としては、使用した尺度の作成者・販売元に使用許可を得、所属機関の倫理審査委員会の承認を得た。対象には、個人のプライバシーや協力に対する自由を保障し、研究の主旨と共にその旨を書面で説明した。質問紙は個別に封筒に入れて配布・回収し、回答をもって調査協力への同意を得たものとした。

III 結果

1) 感情労働とストレス反応の差異

3群に対する尺度の測定結果について、一元配置分散分析・多重比較を行ったところ、感情労働尺度の下位尺度である「患者へのネガティブな感情表出」「患者への共感・ポジティブな感情表出」において有意差がみられた(順に $F(304, 2) = 8.60$, $F(304, 2) = 4.11$)。即ち、「患者へのネガティブな感情表出」では、小児科系群・外科系群が内科系群に比べ有意に

点数が低く、「患者への共感・ポジティブな感情表出」では、小児科系群が他の2群に比べ有意に点数が高かった。他の尺度の全体得点・下位尺度点では、有意差はみられなかった。

2) 患者・その家族からの被暴力体験の差異

Kruskal-Wallisの順位和検定を実施したところ、過去1ヶ月以内では直接的暴力・間接的暴力・ことばで小児科系群が他の2群に比べ頻度が少なかった。過去1ヶ月以上1年以内では、全ての被暴力体験において小児科系群が他の2群に比べ頻度が少なかった。

IV 考察

3群に対する尺度の分析結果により、小児科系群では内科系群・外科系群に比べ、患者へのネガティブな感情表出がより少なく、共感・ポジティブな感情表出がより多く行われていること、その感情管理の差異はバーンアウトや心理的健康度の差異として直接的に現れないことが示唆された。小児看護ではその特性上、成人を看護する場合にも増してことばによらない思いを含めて患者のおかれた状況を汲みとり、小児に安心・理解される表現を選択する感情規制が必要とされるが、それが反映された結果といえる。しかし、この差異がバーンアウト尺度・GHQ28の結果に反映されなかったのは意外な結果であった。患者・その家族からの被暴力体験の頻度が他の2群に比べ少なかったことが、小児科系群の感情労働における感情管理やストレス反応にプラスに影響した可能性が考えられる。

感情労働はバーンアウトやストレス反応と関連が深いとされているが¹⁾²⁾、小児・その家族を看護の対象とした職務状況や特性、被暴力体験、他の関連要因が複雑に影響していると考えられる。今後はそれらの関連要因についても検討していく必要がある。

V 結論

小児看護に従事する看護職者は、患者へのネガティブな感情表出や共感・ポジティブな感情表出をより行っているが、その差異はバーンアウトや心理的健康度の差異として直接的に反映されていないため、今後は他の関連要因も併せて検討していく必要がある。

文献

1. 小宮敬子. ケアと感情労働. アディクションと家族. 2008; 25(3): 198-204.
2. 荻野佳代子・瀧ヶ崎隆司・稲城康一郎. 対人援助職における感情労働がバーンアウトおよびストレスに与える影響. 心理学研究. 2004; 75(4): 371-377.